

令和6年度 学力向上指導改善プラン

けやき台小学校長 清山 孝利

| 学校教育目標              |   | 夢に向かって 堂々と歩む子の育成<br>～あきらめず挑戦し 自尊感情を高めるけやきっ子～   |  | 4月  |  | 2～3月  |       |
|---------------------|---|--|--|---|--|---|-------|
| 推進主体                |   | 管理職と主幹教諭、学年・教務主任による学校教育改革推進委員会を設置し、以下の改善プランを策定   |  | 学力向上に向けての重点的な目標   |  | 年度末評価   |       |
| 学力に関する前年度の状況・経年の課題等 |   |  |  | (指標となる数値等)  |  | (今年度の成果と来年度に向けた課題等)   |       |
|                     |   |  |  | (成果目標達成のための具体的な手立て等)  |  | 評価  |       |
| 学力の状況               | 全国学力・学習状況調査の結果(国語、算数・数学に関する質問調査の結果も含む)  | 国語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「書くこと」領域の「資料をもとに、与えられた条件を満たしながら書き表し方を工夫して記述する」という設問について課題が見られた。本校の平均正答率は24.8%で、全国平均と県平均を下回る結果であった。情報の関係を捉えたり、グラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く力が必要である。</li> <li>◆国語教材内の比較する内容の教材を重点教材ととらえ、文中のキーワードを使って、要約させる練習を積み重ねる。</li> <li>◆質問紙「国語の問題では、回答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように回答しましたか」では、最後まで回答を書こうと努力した84.7%と高いが、一方、書く問題は全く回答しなかったが3.6%あり、この値は全国・兵庫県より高い。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心の育成を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員・保護者)の「児童の実態」の項目や子どもアンケートの「自分から進んで明るくあいさつをしている」「言葉づかいに気をつけて、友だちと仲良くしている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校いじめ防止基本方針」にもとづき、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のための取り組みを行う。</li> <li>・けやき台中生徒会作成いじめ防止啓発カレンダーを校内に掲示する。</li> <li>・情報モラル教育講演会を実施し、人権に配慮した正しいコミュニケーション方法を学ぶ機会を設定する。</li> <li>・児童会主催で「あいさつ運動」(児童会)を実施し、めざす児童像の「人とつながる子」をめざす。</li> <li>・学校外の教育力(ゲストティーチャー)を活用し、多様な考え方・生き方・表現等にふれさせる場を設定する。</li> <li>・道徳教科書の他「こころはばたく」「心きらめく」「心ときめく」等を活用し、道徳教育・人権教育の充実を図る。</li> <li>・人権参観(ハートフル参観)を実施する。</li> <li>・人権標語(ハートフル標語)を考える機会を設定する。</li> <li>・特別活動委員会を中心に、学級会・児童会を充実させる。</li> </ul> | 年度末評価 |
|                     |   | 算数・数学  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「図形・データの活用」について必要な条件を見つけて出し、筋道をたてて解答する力に課題がみられる。</li> <li>◆高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見いだし、その理由を記述することに課題が見られた。</li> <li>○問題形式においては、選択式・短答式・記述式の中で、記述式に強く(61.7% 全国平均より13%↑)正答率が大きく上回っていた。また無解答率が低く前向きに取り組む姿が見られた。</li> <li>○朝の学習タイムでの継続した算数プリントの取り組みも児童の基礎学力の定着につながっている。</li> <li>◆四則計算だけでなく、割合の意味や図形の意味や性質など、算数用語を理解する基礎力をつけていきたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本に親しむ子の育成を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの「読書」についての項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月23日を「家族読書の日」とし、学校だよりや図書館だよりで家族読書の啓発を行う。</li> <li>・学校司書と連携し、学校図書館と学年文庫の運営を工夫する。</li> <li>・学校司書と図書ボランティア(かたつむり)による読み聞かせを継続する。</li> <li>・各学期に一度、読書週間を設定し、朝読書を行う。</li> <li>・ブックフレンド(図書)委員会の活動を支援する。</li> <li>・国語科の中で、多読、おすすめの本紹介、ピピオバトルなど、学年に応じて取り組み、本に触れ合う機会を持つようにする。</li> <li>・学校司書と図書ボランティアの協力のもと、20分休み、昼休みの図書室の開放を毎日行う。</li> </ul>  |       |
|                     | 定期テスト、単元テストなどによる状況(各教科)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆算数科においては、基本の計算力が身につけている児童が多いが、文章題での活用や記述に課題のある児童も見られる。</li> <li>◆文章題から読み取ったことを適切な言葉で表現することや要約することが難しい児童がいる。</li> <li>◆国語のテスト以外では、漢字を活用できていない児童がいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評アンケート(児童)の「学校の勉強がわかる」「学校の勉強は楽しい」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習タイムを継続する(算数)。</li> <li>・各学年児童の実態を考慮して、学力向上に向けての取り組みを工夫する。</li> <li>・放課後学習日や夏季休業期間等に学力保障(個別指導)を行う。</li> <li>・「がんばりタイム」を継続して実施する。</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、授業改善を行う。</li> </ul>   |   |       |
|                     | 授業等からうかがえる状況(各教科)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆文章を書く(ふりがえりを含む)ことに時間のかかる児童がいる。</li> <li>◆線分図や関係図等がかけるが答えと図が一致しない児童がいる。</li> <li>◆家庭学習の定着が難しい児童がいる。</li> <li>◆学習に必要な持ち物が揃わない児童がいる。</li> </ul>   |  |   |  |   |       |
| 学習向上生活に習慣化する等の状況    | 全国学力・学習状況調査の質問の状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆質問紙「読書が好きですか」に関する結果は、肯定的評価が68.6%で全国・兵庫県の結果(約71%)を下回っている。</li> <li>○「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の質問に対しては、「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童の割合が全国・兵庫県平均を上回っている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すこやかな体づくりをめざす</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうとしたりしている」の項目で運動・遊びができてきているかを確認する</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びができるよう環境整備を行う。</li> <li>・スポーツ(体育)委員会の活動を支援する。</li> <li>・栄養教諭と連携し、食育を計画的に行う。</li> </ul>  |   |       |
|                     | 学校評価などのアンケート調査による児童・生徒の状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「あいさつ」「そうじ」「言葉づかい」「廊下の右側を静かに歩く」を重点的に継続指導する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の確立をめざす</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で掃除ができてきているかを確認する</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざす児童像」を学校だよりや学級集会などで提示し、家庭での協力を求める。</li> <li>・校内や教室に「学校教育目標(けやきのA(エース)をめざせ！)や「めざす児童像(人とつながり笑顔あふれる心ほかほかなけやきっ子)の合い言葉」を掲示し、日々の指導に生かすと共に、全児童が意識できるようにする。</li> <li>・掃除が積極的にできるように、掃除用具の点検や指導の工夫をする。</li> <li>・学校ヒカビカ(美化)委員会の活動を支援する。</li> </ul> |   |       |
| 授業改善                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善</li> <li>・ICT機器を効果的に活用(クラウド環境を活かした授業実施等)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートの「学校の勉強は楽しい」は、肯定的評価が88%。職員アンケートの「工夫ある授業づくり」について肯定的評価は92%へと高評価である。</li> <li>◆児童が思わず引き込まれる、考えたくなる、熱中できるような授業を展開できるよう、校内や学年でさらに授業研究に取り組む。</li> <li>◆ICTを活用した学習状況の改善が必要である。</li> <li>5年までに受けた授業でICT機器を週1回以上使用していると回答している児童の割合は、72.9%である。これは、全国平均より10.3%、兵庫県平均より7%下回っている。</li> <li>○ICTを活用した学習状況を改善するために、各教科でのICT活用場面や方法を各学年の情報教育担当者を中心に検討する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びにつながる授業の工夫改善を行う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートのICTを効果的に活用し、個に応じた最適な学びを実現させていく」の項目で、9割以上の肯定的評価を目指す</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に用い、児童一人ひとりに有効な指導を続けられるよう学年で取り組む。</li> <li>・ドリルパークの活用を効果的に行う。</li> <li>・ふりがえりを、自己調整力に結び付けて、粘り強く学習に取り組む力の育成を目指す。</li> <li>・本校の算数科の研究とつなげ、対話的な授業づくりを行う。</li> </ul>  |   |       |
|                     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマに算数科の研究に取り組んでいる。</li> <li>◆よりよい授業づくりのための事前・事後研修を工夫する。</li> <li>○年間を通して、算数科授業研究・人権教育・特別支援教育・生徒指導・外国語教育・食物アレルギー対応などの研修を計画的に実施している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマにした研究の推進</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の学校運営「研究」の項目で研究の成果を問い、9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりを行い、思考力の育成をめざす。</li> <li>・授業研究を行い、全職員で授業力向上に努める。</li> <li>・1月に算数科研究発表会を実施する。</li> <li>・兵庫県学習システム(5・6年)と担任が連携し、児童理解と指導を行う。</li> <li>・教科担任制を生かした指導を工夫し、さまざまな教師の視点から子どもの良さや特徴を見とっていく。</li> </ul>                     |   |       |
| 家庭・校種間連携            | 家庭・地域等の状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーや学校支援ボランティアの協力を得て、学習の成果をあげている。今後も、より効果的な学習活動を工夫し、更なる人材の確保に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域との連携を図る</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を年間を通して計画的に開催する。</li> <li>・学校だよりを地域に回覧できるよう配布する。</li> <li>・学校だよりやホームページ等で学校の様子を発信する。</li> <li>・学校支援ボランティアと連携した授業の工夫を行う。</li> </ul>  |   |       |
|                     | 小・中における教科連携等の状況   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して継続的な保・幼・小・中の交流を計画的に実施している。</li> <li>○けやき台中学校区青少年健全育成連携連絡会を定期開催し、児童・生徒の情報交換や授業参観等を行っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保・幼・小・中・高の連携を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「保・幼・小・中連携体制を確立し、学びの連続性を踏まえた指導を行っている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッディ・カルチャータウン青少年連絡協議会を定期開催し、児童・生徒理解を深める。</li> <li>・学校・園だよりの交流を行う。</li> <li>・児童の様子について引き継ぎを行う。</li> <li>・年間を通して継続的な保・幼・小・中交流(授業参観・情報交換)を計画的に行う。</li> <li>・5年生と入学予定園児との交流を継続する。</li> <li>・「けやき台中学校生徒の「トライやる」の受け入れを継続する。</li> </ul>             |   |       |